



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和2年5月号

神奈川県立相模原中央支援学校

登校再開です！

5月が過ぎ、6月を迎え、木々の緑がますます色濃くなってまいりました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のための臨時休業が長らく続きましたが、神奈川県もようやく緊急事態宣言が解除され、いよいよ登校再開となりました。しかしながら、みなさまには、いまだ多くの注意を払いながらの毎日をお過ごしのことと推察いたします。

さて、令和2年4月に着任いたしました、副校長の篠原と申します。相模原中央支援学校には開校から4年間勤めていたこともあり、再び勤務できることをうれしく思っています。平成23(2011)年の4月、新築の校舎で、わくわくドキドキしながら子どもたちを迎える準備をしていたことを、今でもよく覚えています。そして、平成22(2010)年11月に「学校」として設置された本校は、今年で10歳になります。イベントも企画しています。そのためにも、1日も早く、この状況が終息することを願っています。

また、この臨時休業中には、学習保障の教材を配信してまいりましたが、ご覧いただけましたでしょうか。今後しばらくは分散登校となりますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

副校長 篠原朋子（しのはらともこ）

新学習指導要領について

2018年度より新学習指導要領への移行期間でしたが、今年度から小学部で全面实施となります。中学部は2021年度から全面实施、高等部では2022年度の入学生から年次進行で実施していきます。(幼稚部は2018年度より実施されています)

< 生きる力 を育むための、3つの柱(資質・能力) >

- 1 実際の社会や生活で生きて働く、**知識及び技能**
- 2 未知の状況にも対応できる、**思考力、判断力、表現力**など
- 3 学んだことを人生や社会に生かそうとする、**学びに向かう力、人間性**など

この3つの資質・能力の育成を目指すために、「カリキュラム・マネジメント」(教育課程に基づき組織的、計画的に教育活動の質の向上を図る)を確立させ、学習効果の質を高めます。また、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の視点から、何を学ぶかだけでなく、どのように学ぶかも重視して授業を改善します。詳しくは、文部科学省のホームページをご覧ください。

新型コロナウイルスによる影響で、さまざまな学校教育活動が制限されています。子どもたちの安全と学校教育活動とのバランスを考えながら、子どもたちの笑顔あふれる相模原中央支援学校に戻るために、教員一同で取り組んでいきたいと思っております。

教務グループ 今井